

第6回庄原市行政評価委員会 会議録（摘録）

1. 開催日時 平成28年12月5日（月）
開 会：13時30分
閉 会：14時08分
2. 開催場所 庄原市役所 5階 第2委員会室
3. 出席委員 石川芳秀 委員（委員長） ・ 若林隆志 委員
清水孝清 委員 ・ 荒木和美 委員 ・ 齋藤万由美 委員
檀上理恵 委員 ・ 水戸美代子 委員
4. 欠席委員 なし
5. 出席職員 総務部 行政管理課 課長 山根啓荘
総務部 行政管理課 係長 東 健治
総務部 行政管理課 主任主事 横山敬之
総務部 行政管理課 主任主事 川島球花
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

第6回庄原市行政評価委員会次第

平成28年12月5日（月）13:30から
庄原市役所5階 第3委員会室

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. 総括意見の集約

(1) 保育所児童送迎業務

資料1

(2) 地域マネージャー活用事業交付金

資料2

(3) ひろしまの森づくり事業（環境貢献林補助金）

資料3

4. 今年度の評価まとめ

資料4

5. 閉 会

会議経過

1. 開会

2. 委員長あいさつ

大変ご多用の中、委員の皆様には今回まで6回の委員会において8事業の評価をいただきました。今回、最終回の予定でございますが、よろしくお願ひしたいと思います。

3. 総括意見の集約

(1) 保育所児童送迎業務 資料1

総括意見

評価：拡充・縮小以外の見直し

子育て支援策として、必要な事業であり、継続して実施すべきと考える。

しかしながら、担当課評価のとおり課題も多いことから、次の事項に留意し、見直しを検討されたい。

① 不均衡は解消すべきと考える。

- ・ 終期の設定、区域見直し、自己負担の導入について検討すること。
- ・ 各地域の実施経緯や実情を把握し、地域や保護者の理解を得られるよう十分配慮すること。
- ・ 保護者、児童の不利益とならないよう配慮すること。

② 児童送迎の枠組みを超えた、総合的な交通体系、生活支援対策を検討すること。

- ・ 効率的な事業体系構築により、事業費の削減に努められたい。
- ・ 法令及び安全面に留意しつつ、生活交通、高齢者福祉送迎サービス等への混乗等を模索すること。

(2) 地域マネージャー活用事業交付金 資料2

総括意見

評価：拡充・縮小以外の見直し

実績・成果を挙げている地域があること、地域の人が自ら専門性を持って取り組む「市民が主役のまちづくり」をさらに進める事業であることから、今後も充実させていく必要がある事業と考える。次の点に留意し、見直しを検討されたい。

- ・ 各地域の事業内容を積極的にPRし、市民との情報共有を図る。
- ・ 地域マネージャーへの各種研修機会の付与、活動費の増額など、待遇面の検討をすること。
- ・ 各自治振興区において、地域マネージャーが活躍し、次世代につながる地域となるよう努められたい。

(3) ひろしまの森づくり事業（環境貢献林補助金） 資料3

総括意見

評価：現行どおり

県内の森の公益的機能（土砂流出防止、水を蓄える、きれいな水を生み出す、空気をきれいにするなどの機能）を守るため、県民税を財源として市が元気な森づくりを行う取り組みは重要である。今後も継続した取り組みとするためには、森づくりの必要性を市民・県民が理解することが課題と考える。写真等で視覚に訴えるなど、PR方法を工夫し、森林の整備普及に向け取り組まれたい。

4. 今年度の評価まとめ

－資料4について、事務局から説明－

事務局：次年度は、予算編成時期も考慮しながら早い時期に開催したい。

委員：終了との意見の事業について、次年度予算はどのようになるのか。担当課の評価と評価委員会の評価がほとんどの事業で同じというのはどうかと思うが、一方、行政が市民の声を聞いて行われているという見方もできるかもしれない。

事務局：終了との意見の事業について、終了となるかどうかは、現在調整中であるが、次年度の予算編成に向けて制度の見直しを検討している。

委員：評価シートに過去3年の実績は掲載されているが、今年度も下半期を迎える中で、直近の平成28年度中間実績も提示してほしい。

委員：一次評価対象事業から委員会選定事業を選ぶ際の方針を示してほしい。例えば、行政内部、プラモニでも判断が難しいので委員会に諮ろうというような方針がほしい。

委員：委員定数について、要綱では10人以上となっている。現在は、地域ごとの選出等を考慮されているかと思うが、7人となっているが定数についても検討されたい。

委員：明らかに終了した方がいいようなものなどではなく、意見がわかるような事業を選定してほしい。

委員：プラモニを盛り上げるよう、簡易に評価できるような手法など工夫してほしい。

委員：全体的なアプトプット、アウトカムも必要であるが、個別の視点で利用者や関係者の声を実績、効果として拾い上げてほしい。

－事務局あいさつ－

事務局：9月から計6回開催し、ご多用の中ではありますが出席をいただきありがとうございます。事務局の説明が至らずご迷惑をおかけした点もありますが、行政外部から見る視点が重要であり、貴重なご意見をいただけたものと感じています。今後も効果的で効率的な行政運営に努めて参りたいと考えています。また、プラモニのPRを充実させていきたいと思っております。ありがとうございました。

－委員長あいさつ－

委員長：不慣れでご迷惑をおかけした点もあろうかと思いますが、ご協力をいただきありがとうございます。

5. その他

委員長：本年度の委員会は以上で終了する。

6. 閉 会